

2014 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	全学教職課程委員会
評価基準 4	教育内容・方法・成果
中項目 4-2	教育課程・教育内容
点検・評価項目(1)	4-2-1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
評価の視点	必要な授業科目の開設状況 [教職課程のカリキュラム・ポリシーは基本的には課程認定を受けた各学科に委ねられているが、全学教職課程委員会は全学的視点から検証してきた。]
	順次性のある授業科目の体系的配置
点検・評価項目(2)	4-2-2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
評価の視点	学士課程教育に相応しい教育内容の提供
点検・評価項目(4)	4-2-4 教育課程の適切性について定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

II 点検・評価

【点検・評価項目ごとの現状説明】

4-2-1	教職課程科目は、教育学科が担う「教職科目」と課程認定を受けた各学科が担当する「教科科目」さらに全学教職課程委員会が担当する「教育実習事前指導」「教職実践演習」から構成されている。「教育実習事前指導」は主として中高教職の現場経験のある外部講師に委嘱し、また「教職実践演習」は全学教職課程委員会と学科との連携の中で所定の回数を実施してきた。 「教育実習」に行くために履修すべき科目の明記など「順次性のある科目」の配置を検討してきた。
4-2-2	「教育実習事前指導」「教職実践演習」とも法令に則った基準内容で実施してきた。
4-2-4	教職課程への責任主体が、教育学科・各学科・全学教職課程委員会と分散化している。定期的な検証は全学教職課程委員会でおこなってきた。

【効果が上がっている事項】

4-2-1	
4-2-2	
4-2-3	
4-2-4	教職センター設立準備委員会が発足する。

【改善すべき事項】

4-2-1	
4-2-2	
4-2-3	
4-2-4	

本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

--

《指標データ》

データ集（表9）就職・大学院進学状況

III 【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標	目標達成の指標となるもの	評価				
		2014	2015	2016	2017	2018
中期目標 (2014～ 2018)	「教職課程センター」の設立	→				
	「全学共通教職課程科目」の配置	→				
14 年度 目標		→				